

35の個人と16の団体が出席
道の駅出荷者協議会設立総会



▲選出された出荷者協議会の役員の方皆さん

5月27日、塚本地内にオープン予定の「道の駅」(仮称)伊豆ゲートウェイ函南の物産販売所出荷者協議会の設立総会が函南町文化センターで行われ、野菜や工芸品などの出荷を予定している35の個人と16の団体が出席しました。

設立総会では、協議会の規約が承認され、また、物産販売所の営業時間を9時から18時までの年中無休とするなどの方針が示されました。

協議会の会長に選出された酪農王国オラッチェの西村会長は、「目的地となるような施設を目指したい」と意気込みを話してくれました。

例年以上の出来
函南西瓜目ぞろえ会

5月27日、JA三島函南函南支店出荷場で、函南町の特産品「函南西瓜」の目ぞろえ会が行われました。

目ぞろえ会は、生産者、市場関係者、農協職員により出荷するスイカの大きさや形状、傷、へこみによる外観、たたいた音などで中身を確認し、「秀」「優」「了」の3等級の等級と重さによる階級の基準を統一します。

今季は、天候にも恵まれ生育が順調に進み、例年より10日ぐらい早くピークを迎えるとのこと。生産者は、「30年以上スイカを栽培してきたがトップクラスの出来」と話してくれました。



▲生産者や市場関係者と等級基準の確認を行いました

ごみゼロ運動統一美化キャンペーン
ごみのない美しい町へ



▲来光川のごみを回収しました

5月29日、ごみゼロ運動統一美化キャンペーンが町内全域で行われました。

同キャンペーンは、6月5日の「環境の日」にちなみ取り組みで、ごみの回収と参加者の環境意識の高揚と不法投棄防止の啓発を目的として毎年5月の最終日曜日に行っています。

当日は、町職員、町議会議員、業者、企業に加え、各区役員、小・中学校のPTA役員など約5,000人が町内の道路やグラウンドなどの清掃活動を行い、燃やせるごみ約5トン、燃やせないごみ0.5トン、総量約5.5トンのごみの回収を行いました。

子育ての支援制度を1冊の中に
子育てガイドブックを作製



▲妊娠初期から義務教育までの内容がまとまっています

このほど、町内の子育て世代向けに「子育てガイドブック」を作製しました。

同ガイドブックは、住民からの意見などを参考に2,000部を作製、「妊娠したら」「赤ちゃんが生まれたら」「子育てに悩んだら」などの7項目を色分けしてわかりやすいように表記し、妊娠初期から義務教育までの支援制度などの内容を1冊の中にまとめてあります。

ガイドブックは、母子手帳発行(健康づくり課)や児童手当申請時(子育て支援課)のほか、子育て交流センターで配布しています。

かなみ生涯学習塾開講式
63教室1,072人が受講



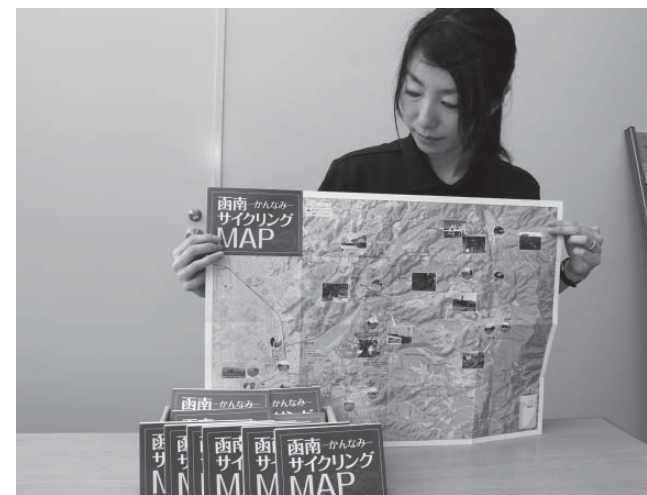
▲各教室の説明会が行われました

5月15日、函南町文化センターで「かなみ生涯学習塾」の開講式が行われました。

平成28年度は、募集した89教室の中から63教室1,072人が受講し、昨年度より8教室多く、初めて受講者が1,000人を超えました。

学習意欲盛んな中高年を中心に、着物の着付け教室や太極拳、外国語、パソコン教室、料理教室など文化芸能から運動までの多彩な内容で、年間10回~20回ほどの講座を受講し、平成29年3月の発表会・展示会に向けて練習などに励んでいます。

体力や好みに応じてコースを設定
サイクリングマップを作製



▲町内の観光スポットなどを入れたコースを設定しています

このほど、ジオサイトや文化財などを巡る7コースを盛り込んだ「かなみサイクリングマップ」を作製しました。

同マップは、2020年に伊豆市で開催される東京五輪自転車競技を応援し、サイクリングを楽しんでもらおうと、狩野川流域サイクリングマップを基に、町内の観光スポットなどを入れ込み2,000部作製、「春・花を愛でるコース」「ジオめぐりコース」「初心者コース」などの7コースを体力や好みに応じて設定しています。

サイクリングマップは、産業振興課窓口や町内の公共施設で配布しています。